

専門分野

精神看護学

授業科目	精神看護学概論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	精神看護学概論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当者				
		1年次	1	30		鳥羽あゆみ			2年次	1	15		鳥羽あゆみ				
学習目標	1. 精神看護の特徴が理解できる。 2. 心の発達と健康及びそれに影響を与える要因を理解できる。 3. 精神の健康の保持・増進を支援するための基礎的知識が理解できる。 4. 治療的対人関係の過程としての看護の援助技術が理解できる。 ・精神の健康の概念 ・環境と心の健康 ・精神看護で活用する援助技術 ・精神看護のコミュニケーション技術						学習目標	1. 精神医療の変遷と現状を学び、精神に障害をもつ人を守る法と制度を理解できる。 2. 社会における精神の健康・不健康について理解できる。 3. 精神に障害をもつ人が、地域で暮らしていくための法やサービスについて理解できる。 ・精神医療の変遷 ・精神保健福祉に関する法制度 ・精神障害者の保健福祉施策 ・地域における精神保健活動									
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験				
1	I. 精神看護学で学ぶこと 1. 精神保健で扱われる現象 2. 精神的健康の保持・増進としての精神保健 3. 地域精神保健 4. 「精神看護」の分野 ・精神看護とは ・精神看護の役割、専門性 II. 精神（心）のとらえ方 1. 精神（心）の構造と働き ・精神力動理論 ・自我心理学 III. 精神（心）の発達に関する主要な考え方 1. エリクソンの漸成的発達理論 2. マズローの欲求5段階説 IV. 精神医療・看護の対象者：精神の病気・障害をもつということ 1. 「精神（心）を病む」とはどうか 2. 精神障害と差別 3. 精神障害と共に生きる V. 精神障害をもつ人と「患者-看護師」関係の構築 1. 精神障害をもつ人との関わり方 ・「患者-看護師」関係の目指すこと ・基本的な態度 ・患者との関わりで起こりうること 2. 精神障害をもつ人とのコミュニケーション 3. 精神障害をもつ人との関係の振り返り ・リフレクション VI. 危機状況と精神（心）の健康 1. 危機とは何か：危機理論・危機モデル 1) 危機理論・危機モデル 2) 危機のプロセス 2. ストレスとコーピング 3. 適応と不適応 4. セルフマネジメント				講義	鳥羽あゆみ 教員 実務経験：有 【試験配点】 80点	1	I. 精神保健医療福祉の歴史と現在の姿				講義	布施 武彦 医師 北海道立 緑ヶ丘病院 医長 実務経験：有 【試験配点】 100点				
2							1. 精神医療の歴史										
3							1) 諸外国における精神医療の歴史と現在 2) 日本における精神医療の歴史と現在 2. 精神障害をもつ人を守る法・制度 3. 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇 1) 入院医療の形態 2) 入院患者の処遇と権利擁護										
4							II. 現代社会と精神（心）の健康 1. 現代社会の特徴： 社会構造の変化と社会病理 2. 精神保健が関与する社会病理現象 ・DV ・職場におけるハラスメント ・児童虐待 ・いじめ ・ひきこもり ・不登校 ・自殺/自傷行為 ・アルコール/薬物依存など				講義	工藤 大観 医師 北海道立 緑ヶ丘病院 医長 実務経験：有	4	II. 現代社会と精神（心）の健康			
5													1. 現代社会の特徴： 社会構造の変化と社会病理				
6													2. 精神保健が関与する社会病理現象				
7													・DV ・職場におけるハラスメント ・児童虐待 ・いじめ ・ひきこもり ・不登校 ・自殺/自傷行為 ・アルコール/薬物依存など				
8													III. 精神障害をもつ人の地域における生活への支援				
9													1. 地域生活の再構築と社会参加				
10													1) 日本における精神障害者へのケアシステムと支援に関する法制度 2) 地域生活への移行と生活支援 2. 精神障害をもつ人の地域生活支援 1) 他職種連携による地域生活支援				
11							IV. 日本の精神看護の発展 1. 災害時の精神看護 1) 災害とストレス 2) 災害時の精神保健医療活動の基本 3) 被災した精神障害者への支援				講義	草場 英太 医師 北海道立 緑ヶ丘病院 実務経験：有	6	III. 精神障害をもつ人の地域における生活への支援			
7													1. 地域生活の再構築と社会参加				
12							1) 日本における精神障害者へのケアシステムと支援に関する法制度 2) 地域生活への移行と生活支援 2. 精神障害をもつ人の地域生活支援 1) 他職種連携による地域生活支援				講義	草場 英太 医師 北海道立 緑ヶ丘病院 実務経験：有	7	2. 精神障害をもつ人の地域生活支援			
13	1) 災害時の精神看護																
14	1) 災害とストレス																
15	2) 災害時の精神保健医療活動の基本																
16	3) 被災した精神障害者への支援																
15	試験						8	試験									
テキスト	新体系看護学全書精神看護学① 「精神看護学概論・精神保健」/メヂカルフレンド社 新体系看護学全書精神看護学② 「精神障害をもつ人の看護」/メヂカルフレンド社						テキスト	新体系看護学全書精神看護学① 「精神看護学概論・精神保健」/メヂカルフレンド社 新体系看護学全書精神看護学② 「精神障害をもつ人の看護」/メヂカルフレンド社									
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験									
先修条件	なし						先修条件	精神看護学概論Ⅰの履修									

専門分野

精神看護学

授業科目	精神看護学 援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	精神看護学 援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		2年次	1	30		鳥羽あゆみ			2年次	1	30		鳥羽あゆみ
学習目標	1. 精神看護における患者―看護師関係構築の重要性について理解できる。 2. 精神障害者の経過別看護の基本と援助方法が理解できる。 3. 精神に障害をもつ人の看護過程を通して、求められる看護について理解できる。 ・患者・看護師関係の構築 ・経過別の精神看護 ・看護過程演習						1. 精神疾患に伴う治療とその看護について理解できる。 2. 精神科病棟の特徴について理解できる。 3. 様々な精神疾患とそれらの症状に対する看護について理解できる。 ・主な治療や精神症状への看護 ・様々な精神障害をもつ対象への看護						
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	序 ●概論の振り返り ●精神看護学の位置づけ 精神看護学を学ぶ意義 I. 入院治療の意味 1. 入院という体験 2. 治療の器としての病院・病棟 3. 入院中の観察とアセスメント				講義	鳥羽あゆみ 教員 実務経験:有	1	I. 精神科における主な治療法と看護の役割 1. 薬物療法 (看護の役割、有害事象、患者にとつての服薬の意味、服薬自己管理)				講義	山本 幸子 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 100点
2	4. ケアの方向性を考える 5. 退院に向けての支援とその実際						2	2. 電気けいれん療法					
3	II. 精神障害をもつ人への看護援助の展開						3	3. リハビリテーション療法 (精神科デイケア)					
4	1. 看護援助の基本構造 ・看護過程の展開 ・精神看護におけるアセスメントと看護計画						4	4. 精神療法 (支持的精神療法、認知行動療法、看護場面における位置づけ)					
5	2. 精神障害をもつ人へのセルフケアの援助 ・セルフケアとは ・セルフケア援助の実際						5	II. 精神障害をもつ人への看護 1. 精神科病棟における事故防止・安全管理と倫理的配慮					
6	3. 経過における看護 ・急性期における看護援助						6	2) 病棟環境の整備					
7	・回復期における看護援助						7	3) 自殺・自傷行為					
8	・慢性期における看護援助 ・退院支援期における看護援助						8	4) 攻撃的行動・暴力					
9	III. 精神障害をもつ人の看護過程 【学習目標】 精神障害をもつ患者の病態・治療経過を理解し、生理的、心理社会的側面からアセスメントし、必要な援助を考えられる。 学習方法：紙上事例を用い、看護過程を展開する。						9	5) 離院					
10	1. 基礎情報						10	6) 隔離・身体拘束					
11	2. アセスメント						11	III. 精神疾患／障害をもつ人への看護 1. 統合失調症					
12	3. 看護診断						12	1) 急性期から回復期にある統合失調症をもつ人への看護					
13	4. 看護計画						13	2) 慢性期にある統合失調症をもつ人への看護					
14	5. レポート						14	2. 妄想性障害					
15	試験						15	3. 双極性障害／うつ病					
テキスト	新体系看護学全書精神看護学② 「精神障害をもつ人の看護」/メヂカルフレンド社						15	4. アルコール依存					
評価方法	筆記試験 6割 演習への取り組み、出席状況、レポート 4割						15	5. 認知症					
先修条件	精神看護学概論Ⅰの履修						15	IV. 精神疾患／障害をもつ子どもへの看護 1. 自閉症スペクトラム障害 2. 注意欠如・多動性障害 3. 強迫性障害 4. 神経性やせ症摂食制限型					
先修条件	精神看護学概論Ⅰの履修						15	V. 身体疾患を合併している患者への看護 1. がん 2. 肺炎 3. 骨折					
先修条件	精神看護学概論Ⅰの履修						15	VI. 日本の精神看護の発展 1. リエゾン精神看護					